

【別添】

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：愛媛県バドミントン協会]

[記載日：令和5年3月1日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	—
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 公益財団法人日本バドミントン協会の定款に沿った愛媛県バドミントン協会規約等を制定し、当協会の役員及び会員は当該規約等を遵守している。 当協会の専用口座を開設し、団体として活動のための財産を区分して管理・運営している。	A
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 事業運営においては、適用される関係法令、地方公共団体が定める各種条例や規則等を遵守している。	A
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 規約に基づき必要な理事（若干名）及び監事2名の役員体制を整えている。 理事会（常務理事会）及び総会において計算書類及び事業報告の承認手続きを行うとともに、監事による監査等を通じて適切な団体運営に努めている。 また、事業の必要に応じた各種専門委員会を設け、事業に精通した理事を配置することにより、組織の実情に見合った議論を行い、対応することが可能である。	A

原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>当協会の基本方針については文書化していないが、理事会及び総会において意見交換を行い、役員の意味統一を図っている。</p> <p>今後、基本計画を策定（文書化）し、ホームページでの公表を検討する。</p>	
原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>現在、役職員に対するコンプライアンス教育や研修は実施していない。</p> <p>今後は役職員を対象としたコンプライアンス研修の実施を検討するとともに、中央競技団体が実施するコンプライアンス研修会等への参加を促す。</p>	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>現在、指導者及び競技者等に対するコンプライアンス教育や研修は実施していない。</p> <p>今後は、中央競技団体が実施するコンプライアンス研修会等への参加を促す。</p>	
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	B
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>当協会の内規に基づき、適切に会計処理を行っている。</p> <p>今後、財務、経理に関する規程を整備するとともに、より公正かつ適切な会計処理を実施していく。</p>	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>助成元における交付要綱等を遵守しながら、適切に処理している。</p>	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	B
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>会計幹事を2名選任し、定期的な監査を行っている。今後、会計知識を習得するための講習会等への参加を検討する。</p>	
<p>原則5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。</p>	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>総会において事業報告書及び収支予算書等を報告するとともに、(公財)愛媛県スポーツ協会に当該資料を提出している。</p>	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>本協会のホームページにおいて、上記資料を含め、役員名簿や各種事業の情報を開示している。</p>	
<p>原則6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF 向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。</p>	
<p>自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)</p>	
原則1から原則13について	—
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>本協会では、ガバナンスコード(NF向け)の個別規定については、各原則の内容を精査確認のうえ、ガバナンスの確保が求められると判断する場合は、自己説明と公表を行う。</p>	
原則2について	C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>現在の役員構成は女性理事の割合が低いことから、今後の役員改選時に女性理事の増員を目指すこととし、具体的な目標割合を設ける関係規程の整備を検討する。</p>	